

学校給食センター整備（PFI 導入可能性調査・アドバイザー）

目的

近年、食の安全性に対する社会の関心は高くなる一方です。このような状況下で学校給食センターは、子供たちの食を預かる重要な役目を果たしており、その衛生面・機能面については、常に維持・向上を目指す必要があります。このような中で衛生面の要求に対する回答として HACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point）が取りあげられる機会が多くなっており、学校給食センターにおいても、その概念を導入した施設へ変更するとともに、調理・運搬等についても HACCP に則ったものとすべく、対応チームなどを編成して臨んでいる事例がみられます。

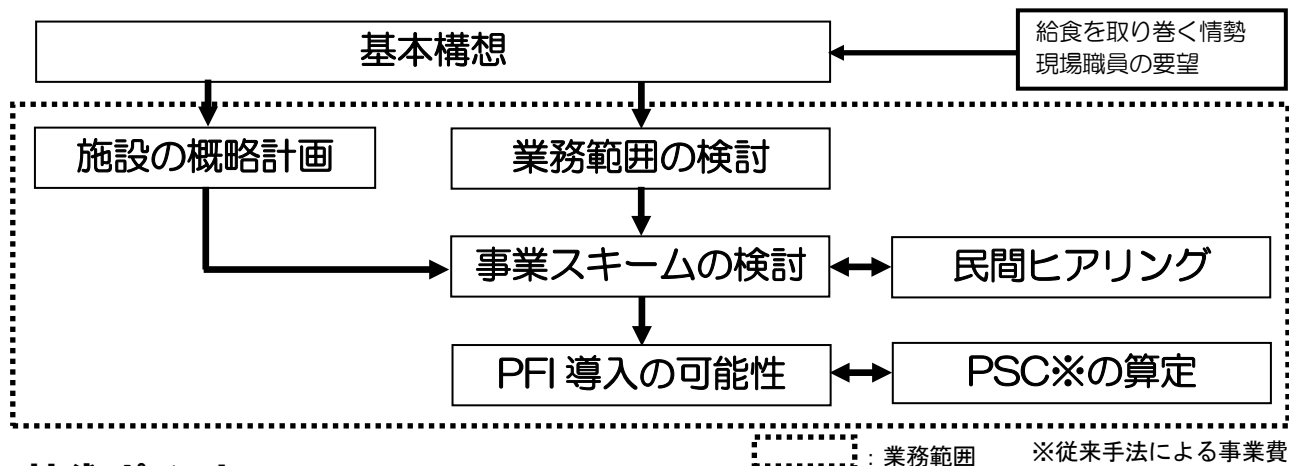
民間では、HACCP を早くから取り入れ、建設・調理・運搬を行っている事例が多くあります。このようなノウハウを活用するとともに、長期・一括契約を行うことで、コストメリットを増大させ、より安価でより良い学校給食センターを整備・運営することで、住民に対して優れた学校給食サービスを提供できます。

PFI 導入可能性調査について

1. 内容

学校給食センターのあり方（基本構想）※をもとに、施設の概略計画や事業の考え方と進め方を検討するとともに、民間ヒアリング等を行い、事業化の可能性を調査します。

※業務の中で検討することも可能です。



2. 技術ポイント

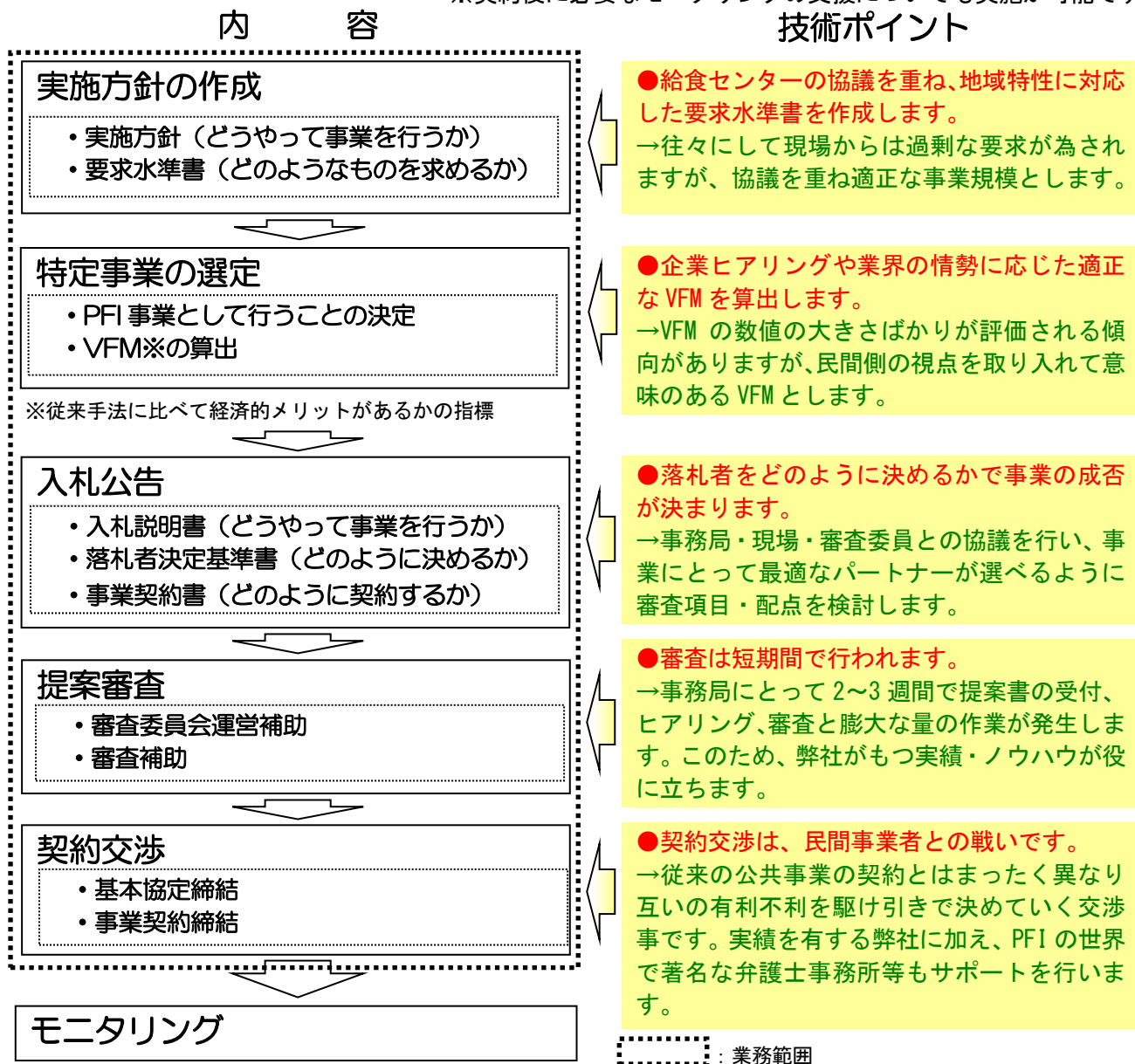
- 給食センターのPFIは、調理業務を官民どちらが行うかで、大きく内容が異なります。
→給食の業務状況や将来的な方向性などを考慮して、最適な業務の分担を提案いたします。
- 給食センターのPFIは、給食の安全性に対する責任の放棄と誤解されることがあります。
→庁内や議会などに対しては、調査の過程でPFIに関する勉強会・説明会を実施します。
- 可能性調査時点の事業費が一人歩きして、事業者募集段階で参加する企業がないことがあります。
→企業ヒアリングや業界の動向から適切なPSC（従来手法に事業費）を算出します。
- 給食センターは、特殊な部屋割りや機器があって検討が難しい。
→大丈夫です！HACCPの概念や衛生管理区分、調理機器など豊富な専門知識でサポートします。

PFI アドバイザリーについて

1. 内容と技術ポイント

導入可能性調査を踏まえ、民間事業者の提案条件の設定（入札・募集支援）や、提案審査支援、事業契約支援を行います。※

※契約後に必要なモニタリングの支援についても実施が可能です。



当社実績

- ※ 学校給食センターPFI 実績・・・北名古屋 PFI 導入可能性調査、御殿場市アドバイザー
- ※ 当社の PFI 関連業務実績：「豊田市交通安全学習館（基本構想・導入可能性調査・アドバイザー・モニタリング）」（愛知県豊田市）、「森林公園ゴルフ場整備運営 PFI 事業（SPC 側テクニカルアドバイザー）」（森林公園ゴルフ場運営(株)）、「医療保健センター建設事業（基本構想・導入可能性調査・アドバイザー）」（群馬県高崎市）ほか、**合計：PFI 導入可能性調査 22 件、アドバイザー 3 件**

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先：事業企画部 (TEL. 052-979-3960/FAX. 052-979-3970)